

## 伸びた学習法の実例(1)

2024. 1. 25 (木)

### フロローグ

目標の大学・高校に合格した人たちが数専ゼミで実際に学習した方法を紹介しましょう。

中学生の場合、山形東、西高に合格した人たち

あるいは、ICU(国際基督教高等学校)や澁谷幕張高校に合格した人たち

また、高校生の場合、東北大(医学部, 経済学部, 文学部), 自治医科大学(医学科),

昭和大学(歯学部), 山形大学(医学部)に合格した人たち

### もくじ

「伸びた学習法の実例」について、次の3つの項目で紹介します。

- (1) 数専ゼミでは、何を教えてもらえるのか
- (2) 数専ゼミでは、どのように教えてもらえるのか
- (3) 「テスト対策」についてーとりわけテスト後対策についてー

## (1) 数専ゼミでは、何を教えてもらえるのか

**\* 抽象的な目標では、何を学ぶべきかを決められない**

「学力を上げるため」とか「成績を伸ばすため」とか、さらに「志望校に合格するため」に塾で習いたい、では、学習目標にはなりません。

「では、何を勉強しますか」と聞かれたら、どのように答えますか。

学習目標は、具体的でなければなりません。

そうしないと、今、何を勉強すべきかが決められないからです。

また、漠然とした目標では、学習する意欲がわきません。

要するに、敵が見えないから士気があがらないのですね。

**\* 学習には、次の2つの目標しかない**

## ①学校の定期テスト対策

「定期テスト対策をやりたい」でも、抽象的すぎて、今何を勉強すべきかが決められません。もう少し目標をしぼってみましょう。

「次の定期テストの範囲は方程式だから、文章題を勉強したい。」  
具体的にになりました。

しかし、では、ここからどんな問題を勉強したらいいか、言えますか。  
言えません。

方程式の文章題には、和と差、速さ、割合などの分野があります。

速さの文章題にしぼっても、

距離を求める問題、時間を求める問題、速さを求める問題、

さらに、特殊な問題として、鉄橋の問題、追いかける・追いつく問題など、

それぞれ特別な解き方の必要な問題があります。

このレベルまで目標を具体化してはじめて、「鉄橋の問題」が難しいからここから勉強しようとか、

「追いかける問題」が解けないからいっぱい練習しようなどと、  
具体的な学習計画を立てることができるのです。

テストのないときは、

次のテストの範囲から出る問題を予想して早めに学習を進めておきます。

50年も学校の定期テストの指導をしていると何が出るのかはおよそ分かります。

### 《学校へ行っていない生徒でも》

学校の定期テストに合わせて学習を進めていくことが大切です。

だから、学校から、テスト範囲の資料をもらっておく必要があります。

授業には出席しなくても、

プリントなど学校が提供する学習資料などは、もらっておくべきです。

## ②入試対策（高校入試、大学入学共通テストと2次試験）

入試対策という場合には、学習内容のレベルについて、次の2種類あります。

- ・入試問題を解くための基礎を学ぶ
- ・入試レベルの問題を学ぶ

これらのいずれの場合も、

入試問題からずれた範囲とレベルを勉強してもすべて無駄になります。

入試の範囲とレベルを熟知した先生の指導に従って勉強しないと、

「あさっての方向」へ向かって受験勉強をすることになります。

最悪の場合は、努力したのに志望校に合格できなかった、ということになります。

こういうことはけっこう起こっています。

出ない問題をいくら解けても、合格点は取れないのです。

山形県の公立高校を受験するのに、“開成高校”の入試問題など、解けなくてもいいのです。

しかし、これを解こうと時間をかけて一生懸命に無駄な努力をしている人がけっこうおられます。

少し賢い生徒です。宿題となっている問題集の発展問題に載っているからです。

そんなの解答を写して提出しろ、と指導しています。

【注】「数学や英語がよくわからないので基本から学習したい」という人がおります。  
しかし、こういう人は、たいがい途中で塾をやめてしまいます。  
学習の具体的な目標がないので、続かないのですね。

【注】「〇〇の単元をしぼって復習をしたい」といってくる人もおります。  
こういう人は、志望校合格という目標があり、〇〇の単元からよく出題されるから、  
という具体的な目標があります。  
だから、このような人は、集中して勉強ができますし、塾も続きます。  
入試問題の分析や自分の模試の成績をみて、次々と自分の学ぶべき課題を見つけ、  
その指導を塾に依頼してくるからです。

等々、数専ゼミでは、このように

①定期テストの高得点をめざし、

そのための〇〇単元の\*\*\*タイプの問題を解けるようにする、とか

②入試での高得点をめざし、

出題頻度や配点の高い〇〇単元の---タイプの問題を解けるようにする  
という具体的な目標に対する学習指導を行います。

入試については市販問題がありますので、傾向を分析できます。

各学校の定期テストについては、

学校でテスト範囲の書いてあるプリントが配布されますので、ただちに塾の持ってきて下さい。

それをもとに出る問題を予想し、その対策を具体的に（学習すべき問題の特定）設定します。

定期テスト対策です。

\*英検とか数検などは、「入試対策」のジャンルに入ると解釈します。

③学習プログラムと教材は

塾で個人毎に用意します。（何枚使ってもプリント代は無料です。）

**”勝つ”ための戦略的学習ができる数専ゼミの数学教室です！**

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)

数専ゼミは、

ひとりひとりに細かいゆき届いた指導をすることができるように、総定員が20名ほどの学習塾  
です。

このスタンスで**創業52年目**の春を迎えます。